

2009 年度統計関連学会連合大会について(第二報)

実行委員会委員長 村上征勝(同志社大学)

プログラム委員会委員長 水田正弘(北海道大学)

運営委員会委員長 橋本紀子(関西大学)

2009 年度統計関連学会連合大会につきまして、進行状況と詳細をご報告いたします。第一報でもご紹介いたしましたとおり、今大会は、統計関連学会連合に所属する全ての学会の共催により開催することになりました。2009 年 3 月 9 日に公示された高等学校の新学習指導要領によりますと、数学 I に統計学の内容が明示的に示されており、全ての高校生が統計学の内容を学習することになるようです。また、数学以外の科目でも統計学の考え方が重視されているように思われます。このような時期に、統計関連の学会の協力関係に基づく大会の開催は重要だと思われま

す。以下では、市民講演会、チュートリアルセッション、企画セッション、コンペセッションなどの概要などを紹介させていただきます。また、各種申込に関しては、以下の日程を予定しております。

講演申込 5 月 11 日(月) 9:00 ~ 6 月 2 日(火) 17:00

原稿提出 6 月 15 日(月) 9:00 ~ 7 月 6 日(月) 17:00

事前参加申込 7 月 16 日(木) 9:00 ~ 8 月 20 日(木) 17:00

これらも含めまして、項目ごとにご紹介させていただきます。

今後、連合大会の Web ページ <http://www.jfssa.jp/taikai/> に関連情報や詳細情報が随時掲載されます。

1. 大会の場所と日程

開催日程: 2009 年 9 月 6 日(日)~9 日(水)までの 4 日間

(9 月 6 日は、チュートリアルセッションと市民講演会のみ)

開催場所: 9 月 6 日(日) 同志社大学今出川キャンパス

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

9 月 7 日(月)~9 日(水) 同志社大学京田辺キャンパス

http://www.doshisha.ac.jp/access/tanabe_access.html

共 催: 応用統計学会, 日本計算機統計学会, 日本計量生物学会, 日本行動計量学会,
日本統計学会, 日本分類学会

なお、懇親会を 2009 年 9 月 8 日(火)19:00~(予定)に、京都東山の八坂の塔のそばにある The Garden Oriental Kyoto にて予定しております。今回の会場は竹内栖風の私邸「東山艸堂」だったところで、近くには高台寺、八坂神社、清水寺などがあり、懇親会後の散策にはもってこいのところ。京都の夏の夜をお楽しみいただければと思います。同会場で、懇親会直前に、コンペティション最優秀報告賞および優秀報告賞受賞者表彰式が行われる予定です。

2. 講演の申込

講演は「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」の3種類からなります。申込み方法は、すべての講演に共通の事項と講演ごとに異なる事項がありますので、ご注意ください。各講演の詳細につきましては、連合大会のWebページを参照して下さい。

(i) すべての講演に共通する事項

講演をご希望の方は、上記Webページからお申込み下さい。その他の申込み方法はありません。申込み期間は2009年5月11日(月)9:00から6月2日(火)17:00までです。Webページ上で、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択して下さい。「企画セッション講演」はオーガナイザー、それ以外は講演者が申込んでください。

(ii) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申込み下さい。Webページ上の講演申込み手順にしたがって申込みをして下さい。プログラム編成の際の参考にしますので、最大3個までのキーワードを、重要視する順に選択願います。また、講演者(連名講演者を含む)のうち、少なくとも1名は共催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(iii) 「企画セッション講演」に関わる事項

オーガナイザーによる一括申込みとします。

(iv) 「コンペティション講演」に関わる事項

「コンペティション講演」に関わる事項はつぎの通りです。コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画で、今回で7回目を迎えます。参加資格は2009年4月1日時点で満30歳未満の若手研究者です。所属(大学院生、教員、社会人)は問いません。連名講演の場合は、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。なお、研究報告の申込み時点で、コンペティション対象者は、共催6学会のいずれかの会員でなければなりません(ただし、申込みと同時に入会手続きをする方も含みます)。前回(慶応大学大会)と同様に事前審査は行わず、申込んだ有資格者全員がコンペティションに参加して頂けます。審査は、当日の口頭発表に対しての数名の審査員と参加者の一般審査との総合評価で行う予定です。詳細は連合大会のWebページに掲載される「コンペティション講演のご案内」をご覧ください。

3. 講演報告集用原稿の提出

講演報告集を大会当日に配付いたします。また、Webでも公開いたします(CD-ROMは作成いたしません)。報告集用原稿はA4で1ページです。提出方法としましては、Webページから電子ファイル(PDF形式)を提出する方法を原則といたします。これが困難な場合に限り、紙原稿の郵送も受け付けます。いずれの方法でも、原稿提出期間は6月15日(月)9:00から7月6日(月)17:00まで(紙原稿の場合も必着)です。厳守をお願いします。なお、紙ベースでの原稿郵送先は

〒060-0811 札幌市北区北11条西5丁目

北海道大学 情報基盤センター(北館)

水田正弘 宛

です。

希望者は、報告集用原稿とは別に詳細論文(Webに掲載)をA4で最長10ページまで提出できます。論文はPDF形式(ファイルサイズは1MB以内)でメールによりプログラム委員会宛(taikai2009@jfssa.jp)にお送り下さい。

報告集用原稿および詳細論文の執筆要項につきましては連合大会 Web ページをご覧ください。「企画セッション講演」の報告集用原稿の提出はオーガナイザーが一括して行って下さい。しいて、企画セッション講演者の方はオーガナイザーによる原稿提出が締切りに間に合いますようにオーガナイザーに原稿をお送り下さい。よろしくお願い申し上げます。

【注意】報告集は、Webにて公開予定です。Webでの公開を希望しない場合には、報告集用原稿の提出時に、その旨をご指示ください。

4. 企画セッションのご案内

現時点において、全部で15件の企画セッションが設けられています。テーマ(仮題)とオーガナイザー(敬称略)の氏名(所属)は以下の通りです。テーマのねらいや講演者・講演タイトル等につきましては連合大会の Web ページをご覧ください。企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので、企画セッションにおける講演者で質問等がおありの方は直接オーガナイザーにお問い合わせ下さい。なお、セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

- Non- and semi-parametric inference [Byeong U. Park (Seoul National University), Ming-Yen Cheng (University College London), 前園宜彦(九州大学)]
- Model selection [Byeong U. Park (Seoul National University), Ming-Yen Cheng (University College London), 前園宜彦(九州大学)]
- Machine learning [Byeong U. Park (Seoul National University), Ming-Yen Cheng (University College London), 前園宜彦(九州大学)]
- 感染症対策における計量生物学の貢献 [大森 崇(京都大学), 服部 聡(久留米大学)]
- Bayes 統計モデルのための計算技法とその応用 [坂本 亘(大阪大学), 桜井裕仁(北海道大学)]
- スポーツ統計科学の新たな挑戦 [酒折文武(中央大学), 田村義保(統計数理研究所)]
- アジア地域における計算機統計学 [栗原考次(岡山大学)]
- 変わる初等中等教育における統計教育 [藤井良宜(宮崎大学)]
- 大学・大学院における統計教育 [宿久 洋(同志社大学)]
- 統計科学, バイオインフォマティクス, システム生物学の統融合的發展 [井元清哉(東京大学), 樋口知之(統計数理研究所)]
- 心の中の統計原理 [足立浩平(大阪大学)]
- 匿名データ [安田 聖(一橋大学)]
- 応用統計学会 学会賞受賞者講演 [永田 靖(早稲田大学), 岸野洋久(東京大学)]
- 日本統計学会会長講演(ならびに各賞授賞式) [岩崎 学(成蹊大学)]
- 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演 [上坂浩之(日本イーライリリー株式会社)]

5. チュートリアルセッションのご案内

チュートリアルセッションでは、2つのテーマを用意しました。2つの会場で並行して行いますので、テーマ1またはテーマ2のどちらかをお選びいただけます。

日時：2009年9月6日(日) 13:00～15:45 (12:30より受付開始)

場所：同志社大学今出川キャンパス

演題・講演者(敬称略)：

テーマ1: ノンパラメトリック回帰入門

竹澤邦夫(中央農業総合研究センター)

テーマ2: DSGEモデルとVARモデルの計量分析—MCMCのマクロ金融政策への応用

渡部敏明(一橋大学), 藤原一平(日本銀行金融研究所)

なお、テーマ名や講演時間等について多少の変更があり得ますことをご了解下さい。

6. 市民講演会のご案内

下記のテーマについて、講演会を予定しております。参加費は無料です。

日時：2009年9月6日(日) 16:00～18:30

場所：同志社大学今出川キャンパス

テーマ：学力調査と統計～全国学力・学習状況調査の現状と統計的側面からの検討

開催趣旨：

国際的な学力調査として、経済協力開発機構(OECD)の実施している学習達成度調査(PISA)や国際教育達成度評価学会(IEA)が実施している国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)の結果から、近年日本の子ども達の学力が低下しているのではないかという問題が指摘されています。この流れを受けて、平成19年4月から文部科学省では、「全国学力・学習状況調査」を開始し、今年4月で3回目の実施を迎えました。この調査は小学校6年生と中学校3年生の全員を対象とするもので「悉皆調査」と呼ばれます。当初から調査の設計や、得られたデータをどのように教育現場にフィードバックするか等、種々のフェーズに対して議論があり、現在でも多くの国民が関心を持っている調査でもあります。

今回の市民講演会では、この「全国学力・学習状況調査」について、統計的側面から検討を行ない、その役割や課題、利用方法について議論を深めてもらうことを目的に企画しました。この調査の設計から解析作業に至るまでの一連の調査活動について、最新の研究成果を識者や専門家に解り易く講演してもらいます。

講演者については確定し次第、Web ページに公表します。多くの方のご参加をお待ちしております。

7. 参加申込と大会参加費

当日受付の混雑を緩和するため、7月16日9:00から8月20日17:00までWebによる事前申込みを実施します。割引もございますので、ぜひご利用ください。

大会参加費(報告集代を含む)	事前申込み	当日受付
会員(共催6学会の会員)	4,000円	6,000円
学生(会員・非会員を問わず)	1,500円	6,000円
学生以外の非会員	10,000円	12,000円
チュートリアルセッション 参加費(資料代を含む)	事前申込み	当日受付
会員(共催6学会の会員)	2,000円	3,000円
学生(会員・非会員を問わず)	1,000円	3,000円
学生以外の非会員	4,500円	6,000円
懇親会参加費	事前申込み	当日受付
一般(会員・非会員を問わず)	7,000円	8,000円
学生(会員・非会員を問わず)	3,000円	4,000円

市民講演会は無料です。

なお、これまでの大会と同様、事前申込みのキャンセル・変更は認めません。大会に参加されなかった場合、報告集あるいは資料を送付いたします。

また本年は、大会初日(9月6日(日)、今出川キャンパス)は、チュートリアルセッションの受付のみを行い、大会参加、懇親会の受付は行いません。ご了解の程、よろしく願いいたします。

8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の紹介・斡旋はいたしません。大会 Web ページの宿泊・観光に情報を掲載していますのでそちらをご参照ください。大会会場(京田辺)近辺には宿泊施設がありません。京都、奈良、大阪のいずれからもアクセス可能ですが、懇親会は京都市内を予定しておりますのでご留意いただければと思います。なお、大会期間中の朝および夕刻に近鉄新田辺駅と同志社大学正門前の間で巡回バスを運行する予定です。近鉄を利用される方は巡回バスをご利用いただければと思います。JRをご利用の方は、JR京田辺駅(近鉄新田辺まで徒歩5分)から新田辺駅まで徒歩で移動していただき巡回バスを利用されるか、JR同志社前駅(正門まで徒歩10分)を利用していただければと思います。

9. 保育室

会場内の一室を保育施設にいたします。運営は専門の業者に委託いたします。多くの方のご利用を期待しています。利用規定や申込み方法などは後日大会 Web ページに掲載します。なお、本年度も保育室設置に際し、(財)日本統計協会による助成金を申請する予定です。

10. Web ページおよび問い合わせ用メールアドレス

連合大会の Web ページ <http://www.jfssa.jp/taikai/> に関連情報や詳細情報が随時掲載されます。メールによる問い合わせは、[taikai2009\(at mark\)jfssa.jp](mailto:taikai2009(at mark)jfssa.jp) 宛にお願いいたします。